

理財部長
西岡 英治 様

新庁舎整備調査特別委員会
委員長 大木 健太郎

議会機能の配置階等に関する意見について

議会機能の配置階について検討を行った結果、議会の独立性やセキュリティ、議場の天井高を確保し、市民が利用する窓口機能を低層階に配置するためにも、議会は上層階に配置すべきとの意見が多数意見でした。

また、少数意見として、眺望を活かして食堂を上層階に配置し議会は中層階にとの意見や、議場を外から見えるようにしたり、多目的利用をするのであれば低層階にとの意見がありました。

その他の検討事項に対する意見は、下記のとおりとなっています。

議場の形状

円卓型：スペースの効率は悪いが、最も民主的な形状である。

扇型：議員と理事者が対面しておりお互いに見やすい。一体感や参加意識が高い。

その他：中核市で最も少ない形状が良い。

議場の床

段床式：議員、理事者双方からお互いが見えやすい（多数意見）。段差にはスロープを。

フラット式：平等・対等に思える。円卓型の場合や、視界が確保できるならフラット式が良い。

傍聴席

2階式：議場全体が見やすく、高いセキュリティが確保できる（多数意見）。

フラット式：議場を多目的利用したり、円卓型の場合はフラット式が良い。

その他：見やすさは必要だが2階式では高すぎるため、段床式が良い。

什器

災害時のことを考えた場合は、机は固定式、椅子は可動式が良い。

議場の多目的利用や、人口減少で議員定数が減ることを見据えると、机も椅子も可動式が良い。

ユニバーサルデザイン

親子傍聴席は防音個室に。

車いす用の傍聴スペースは傍聴席の前方に。

聴覚障がい者等への配慮を。障がい者団体の意見を聞き可能な限り反映させてほしい。

その他

松山市独自の特色のある、日本一のを。